土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　宮奥谷川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.5	**調査位置**	広島県庄原市比和町森脇地内			**北緯**	35° 00′ 27.0010″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 5月 10日 ～ 2022年 5月 12日	**東経**	132° 59′ 32.8743″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 477.40m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	7.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦DO	**エンジン**	ヤンマーNF-10	**ポンプ** 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	477.00	0.40		盛土・砂混じりシルト		黒褐		rc1	新生代第四紀	黒ボク土からなる有機質な表土。粗砂小礫混入。
1 2	474.60	2.80		盛土・粘土質砂礫		暗褐	rd2			黒ボク土と褐色の崖錐堆積物が混在。全体に不均質。黒ボク土は有機質なシルト主体。崖錐堆積物は φ40mm未満の角礫が混じり，粘土分多く含有。2.0m以深，含水多く弱い粘性を示す。
3	473.75	3.65		玉石混じり砂礫		淡褐灰	rd3			基質の砂礫は，粗砂，φ5mm程度の角礫主体で比較的締まっている。最大コブ長20cmの硬質転石が混じる。
4 5 6	470.80	6.60		風化流紋岩		淡緑灰			中生代白亜紀	CL級，軟岩I相当。岩片状コア主体。高角度の変質脈が全体に発達。一部に硬質な岩片を残すが，変質部はハンマーの打撃で砕ける。大半は変質鉱物に置換され全体に緑色を帯びる。
7	470.40	7.00		風化流紋岩		淡青灰				CL級，軟岩I相当。岩片状コア主体。割れ目多いが，変質の程度が弱まる。

孔内水位／測定月日：05/10 1.92

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1 / 200	1 / 250		2 / 450		
	1.60						
5	2.15	1	1	3	5 / 300		
	2.45						
17	3.15	5	6	6	17 / 300		
1500	3.45	50 / 10			50 / 10	10	
	4.00						
	4.01						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					5/10
					5/11